

報道関係者各位

さくら構造(株)の開発した性能とコストを両立した最新鋭の壁式構造 「スマートウォール工法」の現場写真を無料公開

実際に施工している現場写真を公開することで信頼へと繋げる

建築物の構造設計を主力とするさくら構造株式会社（本社：北海道札幌市 代表取締役 田中 真一 以下、さくら構造）は、耐震性に優れた壁式構造をベースに、施工性と耐久性を向上させながらもコストを最適化させる工法「スマートウォール工法」の現場写真を無料で公開しています。従来であれば秘匿性があり、公開することでデメリットになってしまうことから現場写真が公開されることはありません。さくら構造では、実大実験棟「カンティーナ」を実際に見てみたいというお客様が多く、少しでもスマートウォール工法の良さを伝えるために今回の無料公開に踏み切りました。

さくら構造が開発した「スマートウォール工法」は性能とコストを両立した夢の工法



実大実験棟「カンティーナ」

スマートウォール工法の特長を体現すべく作られた実験棟。壁厚 150mm (D10@250 シングル配筋) を標準とし一部のみ壁厚を上げています。外断熱工法を採用し内壁はすべて打放し仕上げとして、ひび割れ観察が可能な配慮を行っています。

【対応できる建物】

共同住宅や戸建て住宅といった住宅から、店舗や事務所、更には老人ホーム、ホテルといった用途にも対応可能

【写真集のダウンロードについて】

現場写真の公開は施主の許可が必要だったり、公開することによって粗が見つかったりとデメリットが多い中で、さくら構造はスマートウォール工法の特長を最大限伝えるべく、お客様の要望に応じて現場写真の写真集を公開しています。ダウンロードは右の二次元コードからお申し込みください。



【スマートウォール工法の特徴】

- ① 耐久性の大幅な向上を可能とする構造躯体
- ② ローコストを実現する「壁式 × シングル配筋」の構造
- ③ 施工性の向上による施工不良発生率の低下と工期短縮
- ④ 過去の震災で実証済みの「高耐震壁式鉄筋コンクリート造」
- ⑤ ひび割れ抵抗性能向上仕様としたコンクリートの採用

【スマートウォール工法への想い】

壁式構造は地震や台風などに強い構造ですが、コストが掛かることから選択されないケースもあります。スマートウォール工法では、壁厚は薄くなり配筋は減っていても、耐震性が高い壁式構造の良さはそのまま。低コストで提供することで、高耐震化の建物を日本に普及していければ、と考えています。

【お問い合わせ】

さくら構造株式会社 担当 小林（こばやし）

Mail kozo@sakura-kozo.jp TEL 011-214-1651 (9:00 ~ 18:00)

